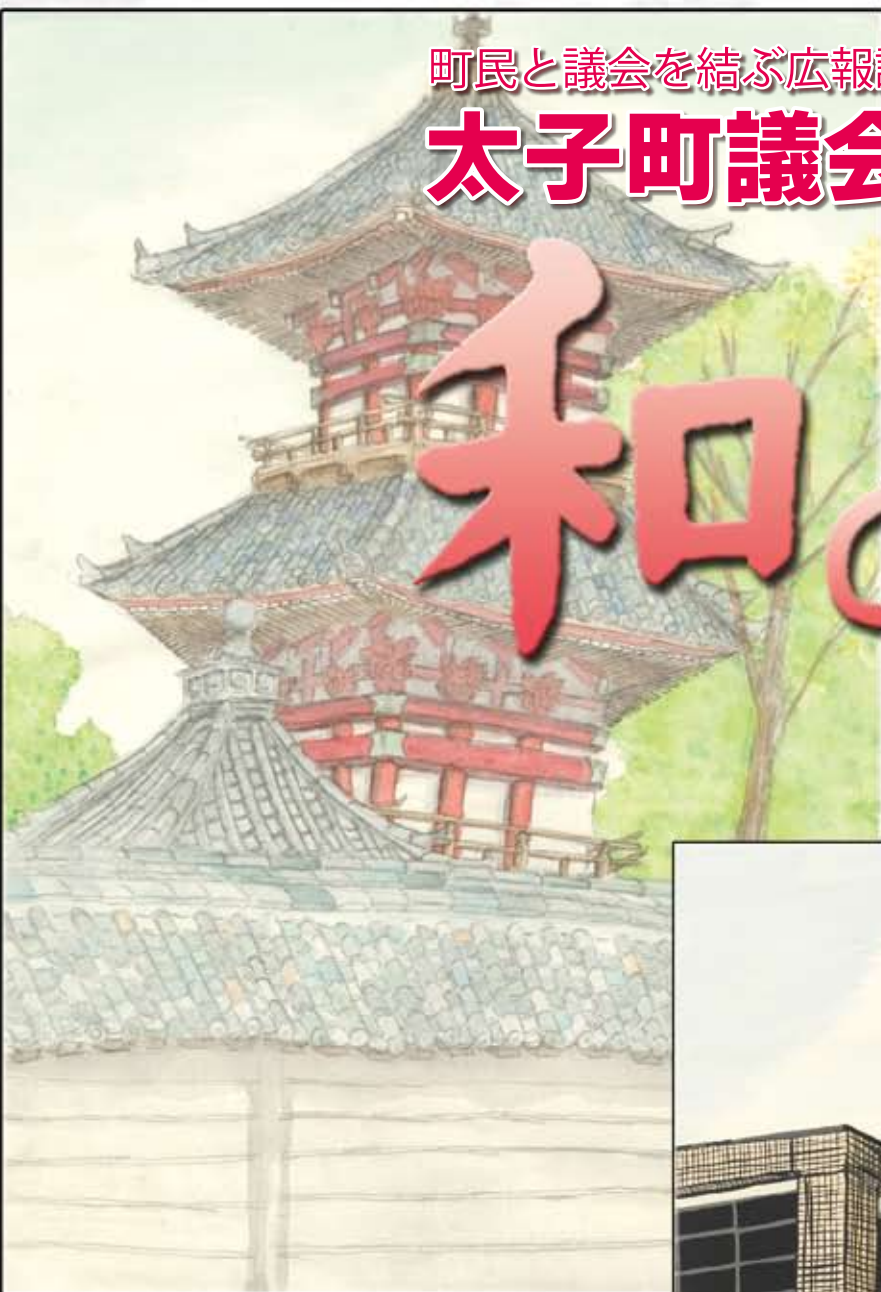


町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

No
161

和のまち



12月議会定例会開催

P2~5

全議員研修会行われる

P5

13人の一般質問

P6~12

ひとまちともに60年

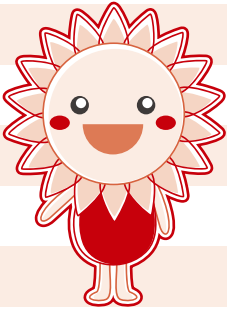
P16



題字：中村優里(太子小6年)
表紙絵(上)：大西亜子(太子西中2年)
表紙絵(下)：松本拓海(太子西中2年)



より税収微増



太子町議会12月度定例会が12月2日から16日までの15日間にわたり開催された。同意2件、補正予算8件、条例5件、その他3件を審議、原案どおり可決された。

歳入		主な内容
内訳	町税	1億3205.2万円 町民税、たばこ税
	国からの収入	△492.2万円 地方交付税、教育費補助金
	県からの収入	114.8万円 後期高齢者医療保険基盤安定負担金等
	負担金	55.8万円 西播磨ふるさとの風景づくり整備事業地元負担金
	特別会計・基金繰入れ	△3870.6万円 墓園特別会計、財政調整基金
	諸収入	10.9万円 広報助成事業交付金
	教育債	1700万円 太田小学校校舎耐震補強事業費
合 計		1億723.9万円

歳出		主な内容
内訳	議会費	△6.4万円 委員長手当の減
	総務費	8464.7万円 電子計算機、新庁舎建設関係等
	民生費	792.6万円 障害者自立支援、子ども手当等
	衛生費	97.5万円 緊急雇用就業関連
	農林水産業費	225.2万円 田中小池補修、シカ捕獲関連
	土木費	1284.9万円 沖代線の道路補修等
	消防費	1740.6万円 東日本大震災関連
内訳	教育費	△1875.2万円 太田小学校耐震補強工事等
	合 計	1億723.9万円

一般会計補正予算

問 反射鏡設置工事費が追加で上がっているが、その内容は。

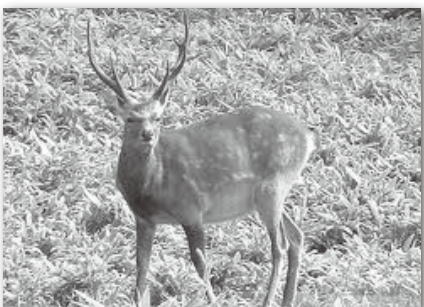
答 シカ緊急捕獲拡大事業負担金の内容は。

問 地元要望を含めて追加4基分である。

答 県知事との協定により負担する。
狩猟期間中にシカを狩猟捕獲した場合、狩猟者に対して狩猟頭数に応じて報奨金を支出するための資金になる。



問 消防団員等公務災害補償費等掛金の追加の目的は。



答 東日本大震災で消防団員の死者、行方不明者が全国で251名であった。その多くが公務中であつたので、その方たちの公務災害補償を行うために掛金を追加したものである。

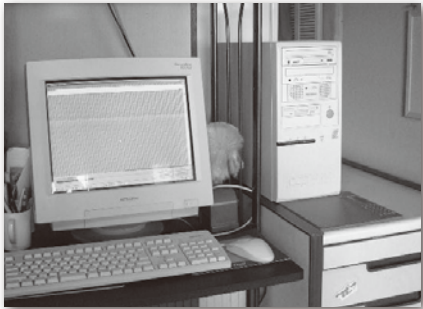
問 兵庫防災ネット利用料が7万3500円で安価な理由は。

答 今年度3月分のみを計上した。年額は88万2千円をラジオ関西に支払うことになる。

雇用持ち直しに

問 電子計算機の業務保守委託料が減額になっているが、その理由は。

答 ハードウェア（キーボード・マウス・外付けハードディスク）の保守とソフトウェア（交通災害・防煙管理等）およびサーバー点検などの業務の一部を職員が行うためである。



問 町民税の補正額が大きいが、その理由は。

答 年度当初は経済不況等による税収の落ち込みが予想され例年より低く予算計上していたが、予想に反して雇用情勢が持ち直しの動きが見られた

ため、本年度決算額を上方修正したので大幅な予算補正をした。

問 龍田小学校体育館のカーテン取り替えの内容とその理由は。

答 経年劣化により布地の損傷がひどいので、暗幕カーテンを全部取り替える。また、今年度龍田小学校は西播磨地区の食に関する教育研究会研究指定校になっている。そして、24年2月10日に公開授業、アトラクション、講演会等を実施するが、そのときには西播磨各地から多数の参加者が見込まれるため、新しいカーテンに替える。

問 公共施設積立金を1億円追加するが、その理由は。

答 新庁舎やその他教育施設等を今後建設あるいは耐震化工事を実施する予定である。22年度末で残高が約8億円あり、そ

れに1億円追加して今後の施設建設等に備えたい。

特別会計補正予算

補正予算審議は次のとおり結果となった。

問 前処理場の修繕について詳細説明を求める。

答 管理棟地下に処理過程で発生する汚水をためるピットがあるが、その中にある水中ポンプが修理不能なので更新する。

問 前処理場も経年劣化で管理棟やポンプ等の修繕が必要になってきているが、今後の運営方針は。

答 町内には事業所があり、今後も汚水処理の必要性はあるので前処理場は存続していく。ただ、できる限り経費節減に努めるが、機器類等についてはどうしても更新等を出てくると考えている。

特別会計	予算補正額	主な内容
国民健康保険	362.5万円	電算処理件数の増加等
介護保険	△20.5万円	介護予防ケアプラン作成システム料等
後期高齢者医療	△117.1万円	広域連合の決算等
墓園事業	464.5万円	墓園管理費等
下水道事業	393.2万円	一般管理費等
前処理場事業	121.3万円	使用水量の増加等
水道事業	13.8万円	人件費の補正等

補正予算審議結果	
一般会計補正予算	賛成多数
国民健康保険特別会計補正予算	全員賛成
介護保険特別会計補正予算	全員賛成
後期高齢者医療特別会計補正予算	全員賛成
墓園事業特別会計補正予算	全員賛成
下水道事業特別会計補正予算	全員賛成
前処理場事業特別会計補正予算	賛成多数
水道事業会計補正予算	賛成多数



安全安心の教育を!

条例改正がありました

11月臨時会

○一般職の給与改正

人事院勧告に基づいて、「一般職の職員の給与に関する条例等」の一部を改正する条例の制定についてを審議し、原案どおり可決。

(内容)

40歳代以上の職員の給与を減額調整し、12月期末手当および24年度4月からの改定実施が決まった。

民間との差を考慮し、12月以降の引き下げ対象は99名、月総額約17万円の減。また11月以前については、12月期末手当において総額170万円の減。

さらに平成24年4月より職員56名の調整額支給を半減し、上限額を1万円とした。

※一般職の職員とは、町長、副町長、教育長、

嘱託職員、アルバイト職員を除いた職員を意味します。

12月定例会

(条例の内容)

●石海小学校耐震補強外改修工事変更契約

下地補修、遮光カーテン取替、既設配線移設、空調機新設等の変更が生じた。

●太田小学校校舎中央棟耐震補強外改修工事変更契約

壁面タイル補修、スロップ新設、床カーペット張り替え、壁下モルタル塗りの追加等の変更が生じた。

●障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の改正

8月に「スポーツ振興法」が「スポーツ基本法」に全部改正されたことに伴い、「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に改める。

行に伴う関係条例の改正
「障害者自立支援法」の一部が改正され、同法律の引用箇所を整理する。

●スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の改正

8月に「スポーツ振興法」が「スポーツ基本法」に全部改正されたことに伴い、「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に改める。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の改正

7月に「災害弔慰金の支給等に関する法律」が改正され、東日本大震災以後、支給対象となる遺族の範囲が拡大された。

●太子町保育所の設置に関する条例の改正

24年4月から石海保育所を民設民営により運営するにあたり、石海保育所に関する部分を削除する。

●太子町学童保育園事業実施条例の改正

他の児童福祉施策と均衡を図るため、保育料の減免対象を「母子家庭」から「母子家庭等医療費受給者証の交付を受けている者」に改正する。

●財産の無償譲渡
24年4月から石海保育所を民設民営で運営するため、建物を「社会福祉法人明和福祉会」に無償譲渡する。

■すべての条例を原案どおり可決

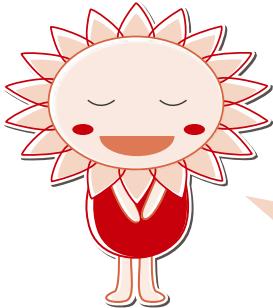
石海小学校耐震補強外改修工事変更契約	賛成多数
太田小学校校舎中央棟耐震補強外改修工事変更契約	賛成多数
障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の改正	全員賛成
スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の改正	全員賛成
災害弔慰金の支給等に関する条例の改正	全員賛成
太子町保育所の設置に関する条例の改正	賛成多数
太子町学童保育園事業実施条例の改正	全員賛成
財産の無償譲渡	賛成多数

学校耐震化工事で

原案同意	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	賛成多数
原案同意	監査委員の選任につき同意を求めることについて	賛成多数
推せん決定	太子町農業委員会委員の推せんについて	全員賛成

人事案件

よろしくお願いします



○固定資産評価審査委員会委員

山口 静哉（天満山）
（任期は24年1月26日から3年間）

○監査委員
森川 勝（助久）
（任期は24年1月1日から4年間）

○太子町農業委員会委員
杉本 泰一（斑鳩）
小野 正明（石海）
倉橋 信明（太田）
中井 政喜（龍田）
（任期は24年1月17日から3年間）

農業委員会のしくみ

この委員会は、「農業委員会等に関する法律」により町に設置された機

関で、農地法やその他農地に関する法律に基づき、農地等の利用関係の調整、農地の交換分合などに関する事務を執行する。
会議は原則毎月21日に開催される定例総会と臨時総会がある。
また定員は20名となっており、公選で選ばれる委員が15名、JA推薦委員が1名、そして議会推薦4名で構成される。

全議員研修会

毎年1回、県下12町の議員が集って研修会を行っている。今回は11月に香美町で開催され、太子町から14名の議員が参加した。

群馬大学大学院教授の片田敏孝氏を講師に招き、『想定を超える災害にどう備えるか』大津波から生き抜いた釜石市の子どもたち、その津波防災教育に学ぶ」という講演があり、防災対策の重要性についての研修を受けた。

講師の片田教授は『釜石の奇跡』と呼ばれる釜石市が取り組んだ学校における津波防災教育について紹介され、我々議員も「自らの命を守る」とこの重要性を学ぶことができた。
津波の恐ろしさを熟知した上で、また今回の想定を超える津波の中、小学6年生がリーダーとなつて、1年生を含む全児童が避難。さらには迫りくる津波の大きさと勢いを瞬時に判断し、避難場所を変更していき、全児童が助かった事実。子どもたちが成し遂げた奇跡を教訓に、日常的な防災教育の大切さを提唱する講師の話に、涙する議員も数多く見受けられた。



香美町中央公民館前にて



13人の
議員が
町政を問う

質問者	要 旨
吉田日出夫	◎東日本大震災後のライフラインに於ける考え方 ◎文化財管理に関して（斑鳩寺）
首藤 佳隆	◎中学校武道必修化について ◎兵庫型教科担任制について ◎コミュニティ・スクールについて ◎地域ブランドについて
森田 眞一	◎学校教育予算の十分な確保について
藤澤元之介	◎環境対策 ◎安全・安心のまちづくりの推進
中数 清志	◎総合運動公園陸上競技場の利用について
清原 良典	◎太子町発注工事の監督・検査体制について ◎太子町建設工事等最低制限価格の設定基準改正について
平田 孝義	◎中学卒業まで入院・通院とも医療費無料化を ◎T P P問題について ◎税制通則法について ◎保育について
橋本 恭子	◎荒れる学校について ◎筒先など消防器具盗難について
中島 貞次	◎消防の広域化について ◎受動喫煙防止の取り組みについて ◎ドクターヘリについて
井村 淳子	◎自殺対策・うつ病対策について ◎災害に強いまちづくりについて
福井 輝昭	◎太子町のこれからの農産業について
服部 千秋	◎沖代の信号は ◎非核宣言のまちの具体的行動は ◎町有財産の活用や処分の現状は ◎職員の働く意欲の育て方は ◎子どもの医療費の助成、中学校まで完全実施は ◎太子町の治水対策は ◎庁舎問題 ◎太子町教育
堀 卓史	◎町民が、より「まちづくり」に参加できるしくみを

問 東日本大震災後のライフラインの考え方を問う

答 太陽光発電の普及に努める



吉田 日出夫議員

吉田 東日本大震災は、被災地のみならず、国民生活全般に大きな影響を与えた震災である。

①町にも関西電力から15%節電要請があったか。

②計画中の新庁舎を含め、今後使用するエネルギーの選択について伺う。

③太陽光発電設置費用の補助施策等について。

総務部長 ①太子町公共施設では7月1日から9月22日を重点実施期間とし、電気使用量を昨年同月と比べ、13・25%節電した。

②現庁舎は新庁舎建設を推進しているところから、新エネルギー施設を設置することは考えていない。

③太陽光発電の普及拡大のため、住宅リフォーム相談窓口を設置している。その中で住宅の耐震化やリフォーム、バリアフリー化、太陽光発電等の相談、情報提供をしている。助成制度は、社団法人太陽光発電協会、太陽光



太陽光発電

発電普及拡大センターの住宅用太陽光発電導入支援対策補助事業と省エネによる住宅リフォームに関する投資型減税の取り組み等を啓蒙して、太陽光発電の普及に努める。

文化財管理について

吉田 斑鳩寺の聖徳殿後殿（庫裏）修復の最終回答は。

教育次長 県文化財室から修復は平成28年度着工見込み、財政上の措置もそれに合わせて考えているとの回答である。



首藤 佳隆議員

問 中学校武道必修化に伴う安全対策は

答 指導力の向上に努める

首藤 町内2校とも柔道を選択したが、女子生徒の指導は。

教育長 男子生徒と同様の指導となるが、投げ技等では力の関係で幾らか技を選択する。

首藤 柔道固有の事故発生が懸念されるが、安全面への配慮は。

教育長 教師が危険を予知し、事故防止につながる判断力や指導力の向上に努め、生徒一人一人の安全への意識向上を図る。

首藤 礼節や忍耐、また自らを律し、相手を敬う心を養う等、豊かな人間性を育む指導を求める。

地域ブランドアップ

首藤 太子ブランドの認知度を高めるために、今以上の情報量とスピード



感を持った全国的なPR広報戦略は。

経済建設部長 広報やホームページで発信するほか、今後は新聞、テレビ、雑誌等のマスメディアに話題性のある情報を積極的に発信していく。

首藤 地域活性化には住民が主体となり、行政がバックアップする形が必要と考えるが。

町長 行政も案を投げかけ、プラス支援等は惜しまないが、核になる組織をいかに作るかが課題だ。



森田 眞一議員

問 学校教育予算は十分確保されているか

答 授業に支障が出ないよう教育費の充実に努める

森田 10年近くつづく行財政改革による経費節減により、学校の授業や行事に使用する消耗品、教材備品等に当てる予算が、10年前と比べ、消耗品費で約3割、備品費では約6割減となっている。しかも、児童・生徒の数は年々増えているため一人当たりに対する額はさらに少なくなる。このような状況では学校教育に支障が出ているのではないかと危惧する。学校現場の実態をよく調べ予算の十分な確保を行うべきだ。

教育次長 町全体の厳しい財政状況を受け、各学校園において授業に支障が出ないよう、やりくりや工夫をお願いするとともに、教職員全体で協議していただき整備の優先順位を決定している。また、ここ数年は国の各種臨時交付金を最大限

活用して教材備品の整備を行っており、今年度は、学校図書館の図書を充実する予定である。今後とも日常的教育活動を支える教育振興費の充実に努めていきたい。

町長 教育費全体では現在学校建屋の耐震化に相当予算を投入して、来年で耐震化は全て完了させるように取り組んでいる。だからといって子ども達の教育に支障が出るようなことがあってはならない。教育委員会の予算要求内容等を十分精査し考



学校備品



問 省エネ、スマートコミュニティの対策は

答 節電の徹底と情報収集を行う



藤澤 元之介議員

藤澤 ①環境対策につい

て、今後も継続的な電力不足が考えられる。省エネ対策として電力使用の抑制は。

②現在世界で実証試験が行われているエネルギーの効率的な管理である「スマートコミュニティ」等の対策について何か講じられているのか伺う。

総務部長 ①12月19日

からの冬の節電期間を前に、節電対策の実施について通知する予定である。具体的にはエアコン設定

温度、照明点灯対策、

コピー機、OA機器等の対策を徹底する。

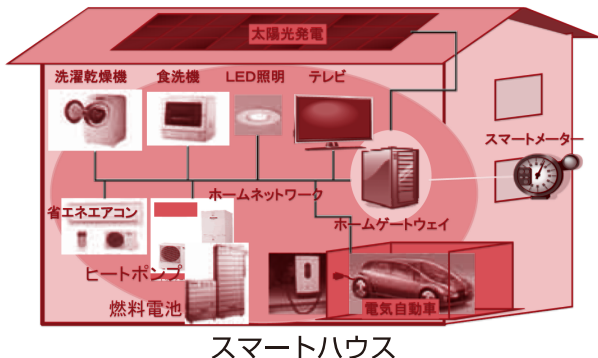
また職員の定時退庁を促進し、今夏の節電対策を踏襲して同じように節電に取り組む。

②「スマートコミュニティ」とは、自然に学び、自然を活用しながら、生活や文化を科学技術で支援する「まち」という

概念である。3月11日の東日本大震災以降、このような考え方や、また実験的な取り組みが広がっていくと思う。

この「スマートコミュニティ」は、ひとつの時代を反映した「まち」のあり方と思うので、その意味では、情報収集だけは欠かさず行っていく。

藤澤 節電と「スマートコミュニティ」を是非、進めていただきたい。



問 総合運動公園陸上競技場の活用方法は

答 規約見直しの検討は必要である



中数 清志議員

中数 太子町以外、西播磨地域には、第3種公認の競技場がなく、価値が高まる中、利用を促進し運営費を賄えないのか。

町外利用者から相應の使用料を徴収できないか。

教育次長 競技場の年間運営費は約2200万円

で使用料収入との開きが課題。町民と町外利用者に差を設ける加算規定は広域行政の観点から同等とする動きの中では難しい。

中数 中体連は無料と聞いたが大会ごとに特別参加費等を貰えないのか。

教育次長 生徒の利用時は減免している。特別負担金を大会実施者から徴収してはという提案だが、現在条例上に規定がない。

中数 インフイルド（芝生部分）を

利用件数 利用人数 収入

	利用件数	利用人数	収入
競技場	623件	19,881人	363,850円
テニスコート	1,244件	12,519人	2,206,250円

※平成22年度



総合運動公園陸上競技場

障害者や高齢者に開放できないか。

教育次長 規約、基準に沿った目的なら年齢、健常者、障害者に関係なく利用できる。社会福祉団体等がリハビリを兼ねて月1回程度利用している。

中数 「太子町立グラウンドの設置及び管理に関する条例」を見直す必要がある。

教育次長 芝生の利用規約も5年経過したので利用方法と使用料問題、併せて検討する必要があると認識している。



清原 良典議員

問 最低制限価格の公表をどうする

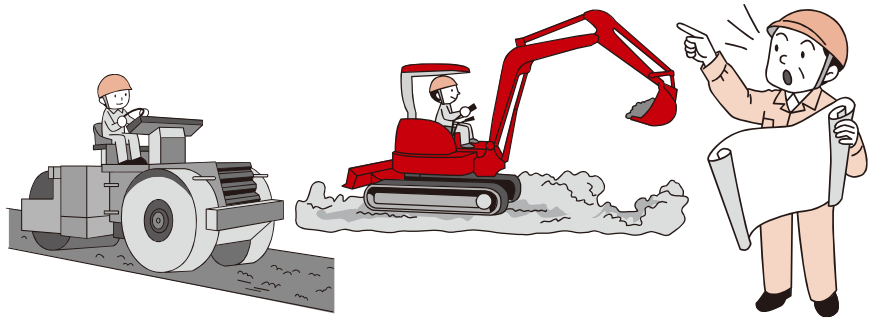
答 実情に応じた施策を講じる

清原 全国的に建設工事等最低制限価格の算定式が公表されている。低くても問題はないと思うが、他市町と比べ太子町だけ数値が低いというのが現状はいかがなものか。

総務部長 本町においては平成15年4月より最低制限価格を事前公表している。太子町が少し低いということはご承知のとおりである。その点については今後とも情報収集しながら見直しを進めたい。

総務部長 最近まで事前公表を強く要望され、担当課としては非常に苦慮

している。業者からの贈収賄等を避けるために、事前公表してオープンにしてきた。健全な競争が一番いいと今まで行ってきたが、地域の実情に応じて最良の施策を講じていきたい。他市町の動向、時代の動きなどによって今後変わっていく可能性は否定しない。



問 中3まで医療費完全無料化を

答 町の財政状況では非常に厳しい

平田 子育て支援にとつて大きな力となる中学3年までの医療費を完全無料化にすると医療費推定予算額は幾らぐらいか。

生活福祉部長 乳幼児医療費助成事業で約4700万円、小学校4年生から中学校3年生まで医療費助成事業で約3200万円、合計で約7900万円の財源を必要とする。

しかし、将来捻出することとは現在の本町の財政状況では非常に厳しい状況である。

財政動向と他市町医療費助成の水準を注視しながら状況に応じた制度を検討する。

平田 毎年汚水前処理場の処理金額は、1億円近い予算が計上されている。太子町の宝である子供たちのために早急に無料化の実現に向け今後、検討を求める。

子育て新システムについて

平田 重大な問題があり、町の保育実施義務がなくなる。国の定める最低基準が無くなり、保育の地域格差が一層広がる。さらに、保育料は保護者の所得に関わらず、利用すればするほど負担が増えると考えられるが。

生活福祉部長 保育の利用保障を全体的に支える方向が示されている。市町村が費用徴収基準を定めて適切な保育が実施できるシステムである。引き続き国の動向を注視していく。



平田 孝義議員



小児科診察



問 荒れる学校について

答 課題の解決に取り組む



橋本 恭子議員

橋本 全国的に校内暴力、いじめ、薬物使用、非行、バタフライナイフ等による教師刺殺、金品を要求され悩んで自殺する子どもたちの問題が世論の注目を集めている。

①太子町内の学校の様子を伺う。

②教育委員会と学校側とが子どもの教育について協議しているのか。

③子どもの心の健康にどう関わっているのか。

教育長 ①子どもたちを取り巻く環境は、極めて刺激的で有害なものや情報のはらんしている。子どもは他者と触れ合いが少なく、ゲームや携帯メールにのめり込んでいる。最近、すぐにキレる、自分勝手、自己中心的な子が増えている。

②太子町教育委員会と学校側は、毎月校園長会を



開催。生徒指導上の現状と課題の報告を受け、解決策を協議している。緊急事態が発生すると臨時教育委員会や臨時校長会を招集する。

③子どもの心の健康については、「スクールカウンセラー」の派遣事業を実施し、中学校に看護師の出前講座や医師による「喫煙防止教室」をしている。また特に中学3年生は、保育園や幼稚園で、幼児と触れ合い優しさや思いやる心の教育をしている。

問 ドクターヘリを西播磨へ

答 市町長会で県知事に要望



中島 貞次議員

中島 2007年6月にドクターヘリ法が成立し、現在全国23道府県に27機ある。兵庫県では但馬地域を中心に、京都北部、鳥取県を運航対象に、豊岡病院を基地病院として救急医療に活躍している。

このドクターヘリは50キロの距離を15分で飛行、最新の医療機器を装備し、救急専門の医師と看護師が搭乗している。

2010年度出動件数は847件、1日当たり2.4件で全国最多出動記録である。予測生存率50%以下の重症、外傷患者は救命率が2〜3倍に上がり有用性がある。また東日本大震災でも、被災者救援に活躍した。

都市部での交通渋滞に影響されずに救命率を高めることが可能であり、災害医療や小児救急医療でもドクターヘリの導入が期待されている。町として県に対して西播磨地

域への配備を積極的に働きかけてはどうか。



ドクターヘリ

町長 救急医療の施設として現在「県立循環器病センター」があり、また平成25年には「製鉄記念病院」がオープンする予定である。本年10月24日、西播磨市町長会で県知事に対し要望書を提出した。ドクターヘリは、十分な効果及び実績もある。今後町負担の問題、またパイロットや医師の確保等の面で難しい面が出る可能性もあると思うが、今後も努力していきたい。



井村 淳子議員

問 防災対策に女性の視点を

答 女性が参加しやすい仕組み作る

井村

自殺者の多くがう

自殺対策・うつ病対策

総務部長 自主防災組織の活発な啓発のために検討する。

井村 住民の自助・共助の意識を高める「避難所運営ゲーム」の活用を。

総務部長 ②いろいろな視点で今後備えていきたい。

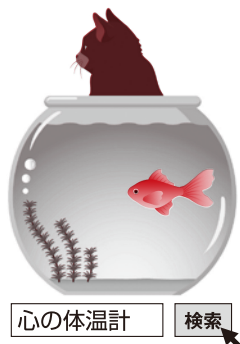
町長 ①女性、高齢者、障害者等の登用に向け条例改正を考える。

②防災備蓄を女性・高齢者・障害者の視点で見直しを。

①町防災会議に女性委員がない。女性も積極登用するべきではないか。

井村 介護や子育ての経験を通じ、生活者の視点を持っている女性が災害時の担い手として力を発揮できる仕組みが必要である。

※避難所運営ゲームとは災害時要援護者への配慮をしながら部屋割り、生活空間の確保等、避難所運営を皆で考えるゲームのこと
※心の体温計とは人間関係や生活の充実度など13項目の質問に答えることにより、利用者の心理を判定



心の体温計

検索

生活福祉部長 「心の体温計」は先進地の事例、予算等も含め検討する。また「認知行動療法」に関する情報については町民へ周知を図りたい。

つ病を発症している。早期発見、治療のため自分の心の状態や落込み度を確認できる「心の体温計」の導入と、これまでの薬物療法に加え有効性が注目されている「認知行動療法」の周知を求める。

問 町の農産業の新たな取り組みは

答 集落営農方式の導入を推進



福井 輝昭議員

経済建設部長 農業に関しては、集落営農方式の導入推進に地域を回っている、また組織については協議会等の

経済建設部長 農業に関しては、集落営農方式の導入推進に地域を回っている、また組織については協議会等の

経済建設部長

福井 農業、商工業等の「第5次総合計画」のプロジェクト、またその実現のための組織、そういったものはあるのか。

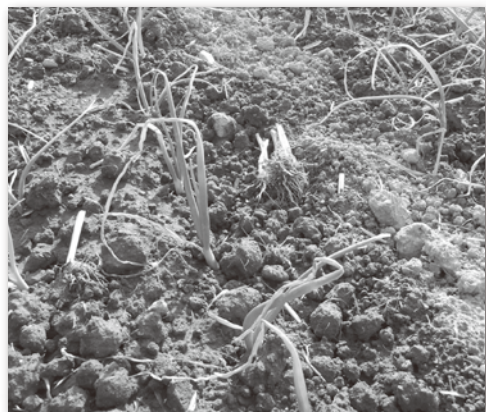
福井 農業、商工業等の「第5次総合計画」のプロジェクト、またその実現のための組織、そういったものはあるのか。

町長 一層力を入れてやらなければいけないと考えている。

福井 先人の賜物である農産業を受け継ぎ、また新たに取組もうとしている町民への支援をお願いする。

経済建設部長 町としては将来的に法人ということも視野にある。

福井 国政ではTPP交渉参加が取りざたされている。太子町の農産業の活性化のため、新たな政策は急務である。見解を問う。



タマネギ栽培

町長 一層力を入れてやらなければいけないと考えている。

福井 先人の賜物である農産業を受け継ぎ、また新たに取組もうとしている町民への支援をお願いする。

経済建設部長 町としては将来的に法人ということも視野にある。

福井 営農法人、6次産業化への取り組みは。既存の組織を十分機能させていく。



問 新庁舎建設について尋ねる

答 具体案は策定中である

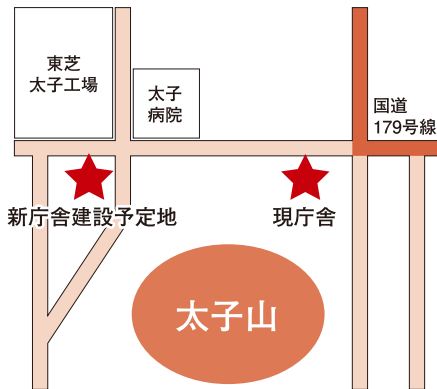


服部 千秋議員

服部 町は、以前から「住民に説明し絶大な賛同をもらっている」と説明してきたが、実際は自治会長の集会で意見を言おうにも時間切れということが過去からあったと自治会長経験者から聞く。総務委員会が行った町民懇談会でも、情報が欲しいとの意見が町民から出た。当局だけが情報を独占するのはよくない。具体的に言えることはあるか。

総務部長 現在、役場職員（係長級の庁内検討委員会作業部会、課長級の庁内検討委員会）で案を策定中だ。その作業終了後に新庁舎建設検討委員会に諮る。その案が出る前に話すと混乱を招く。

服部 合併しないと町がもたないと説明していたのに庁舎を建てて大丈夫かと町民懇談会で出たが。



総務部長 それは今論ずる問題でない。総務委員会は執行機関でなく説明できるはずもない。説明をするのは我々執行機関。責めを負うのも我々だ。

町長 質問しても町は何も答えないと言っているが、庁舎建設検討委員会で練っているのので、私が今どうこうすると答弁できない。

服部 町民の意見に、途中段階でも耳を傾けるべきだ。これが強い要望だ。町民懇談会では現在提案の場所にもろ手をあげて賛成という雰囲気ではなかった。



堀 卓史議員

問 公園の新しい活用のあり方について

答 町民と行政が連携し取り組む

堀 ①地域の公園のほとんどが、各自治会が運営管理していると思うが、公園をつくるとき、町からの補助や助成はあるか。
②*アダプトプログラム（里親制度）の現状と過去の取り組み、公園にかかわるボランティアについて。
③公園の新しい活用のあり方について、フリーマーケットやプレーパーク、公園オープンカフェ等、住民が主体となっていくものだが、太子町から何かできないか。要望があれば、対応できる準備はあるか。

経済建設部長 ①公園設置に伴う遊具や土地の購入費を査定価格の50%以内、30万円までの補助金を交付する制度がある。
②現在のところ各種団体とも余り積極的でない。今後については啓蒙を行い、まちづくり全体の中で取り組みを進める。
③安全で安心のできる公園づくりが第一義と考え、

より楽しくにぎわいのある空間にするため、町民と行政が連携し地域の共有財産である公園をつくり、利用し、はぐくむ取り組みを進めていく。

堀 住民の多様なニーズや問題に対応できる行政運営の基盤を強化する一つの手法として、民間活力の導入は必須。暮らしそのものの本質を見据え、町民と相互に協力し合いながら議論を重ね、まちづくりを行っていくことを要望する。



公園

*アダプトプログラム（里親制度）とは
英語で「〇〇を養子にする」の意味。
公共の場所（道路、公園等）を養子にみだて美化（清掃等）を行う新しいボランティアシステム。行政はこれを支援



活発な意見出る！

11月24日(木)、11月25日(金)、11月26日(土)、11月29日(火)に町内4校区の公民館で「庁舎建設に関する町民懇談会」を開催しました。多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。懇談会の議事録すべてを掲載するに無理がありますので、委員会として以下のようにまとめさせていただきます。

総務常任委員会

町民懇談会～庁舎建設～

【基本設計について】

●新庁舎建設に対して本
当に財政は大丈夫なのか。
財政および町民負担(税
負担の増)に対する不安
の声や質問が出された。

●現在の庁舎が老朽化し
ており、その観点から庁
舎を建てるということ
については理解を示して
いるが、その場合でもで
きただけ無駄を省くべきだ。

●現庁舎をどのようにす
めるのか、それを決めてほ
しい。

【庁舎位置について】

●すべての会場で、新庁
舎の場所が決まっている
ことありきなのか。

今ごろ町民の意見を聞
くのではなく、場所を決
める前に町民に意見を聞
くべきだ。

新庁舎の位置が町の中心
でなく西端になり、大
手企業の工場の前になる
のは不安であるため、反
対である。

●現行の案では太田地区
や龍田地区は不便になる
ので、もしその場所にな

る場合は支所を置いたり、
コミュニティバスを運行
するなど、町民の利便性
を図るべきだ。

【情報公開について】

●町当局は新庁舎建設に
関する情報を町民に出
してほしい。

●町民懇談会の内容や出
された質問に対する回答
をまとめて議会だよりで
特集号を出して知らせて
はどうか。

●庁舎建設に関する会議
の議事録を自治会の回覧
等で回すなど、町民に情
報を知らせるべきだ。そ
してそれをできる限りス
ピーディーに行うべきだ。

●インターネットは若い
人は利用するが、利用し
ない人にとっては議会だ
より等で新庁舎に関する
情報を正確に伝えてほし
い。

【住民参画について】

●各種団体役員の意見を
聞くことはよいが、その
方たちだけの意見を聞く
のではなく、町民の意見

を聞いたり、町民の理解
を得て進めるべきで、一
部の意見だけを聞いて進
めるべきではない。

【議員について】

●すべての会場で、新庁
舎建設その他について、
議員としての務めをもっ
と果たすべきだ。

●すべての会場で、新庁
舎建設の具体的な内容が
分からない。議会の方で、
町当局にもっと情報を出
すよう追及できないのか、
追及すべきだ。議会は情
報を常に町民に出してほ
しい。

●町民懇談会を開いて町
民の意見を吸い上げても
らうことはよいことなの
で、具体的な設計等が分
かった段階で懇談会を開
き、町民の意見を聞いた
上で議決をしてほしい。

これからも町民懇談会
を開いてほしい。

これらの意見を真摯に
受け止め、総務常任委員
会は、今後次の2点につ
いて活動してまいります。

①当局に対して毎月開催
する総務常任委員会での回
答を求めていきます。

②庁舎建設に関する意見
を参考にして新庁舎建設
検討委員会に働きかけま
す。



その他の活動

11月議会では人事院勧
告に基づく給与の改定を
審議し、全員賛成で可決
し、本会議で報告した。

当委員会は「住民の参
画と協働・情報公開の具
体的あり方について」も
調査課題としている。1
月に西播磨6市町へ委員
が調査に行き、6市町と
太子町の現状の比較分析
をする。

「庁舎問題」では、9
月議会の中間報告以降16
回の委員会を開催した。
1月23日には岡山県真庭
市へ庁舎の視察予定。
両課題とも3月議会で
報告する。

福祉文教常任委員会

9月定例会(8月26日)

社会福祉の充実について提言を行った。(抜粋)

●介護給付の時間数の上限の引き上げに努めること。

●障がい者が身近なところでスポーツや文化活動に参加できる事業を増やすこと。

また障害のある者、ない者もみんなが自由に集まり過ごせる公園など、社会参加や交流の場の整備充実に努めること。

●自治会への災害要援護者の情報の提供について、「個人情報保護条例」との関係を早急に整理、調整し、情報の共有化を図り地域で支え合う体制作りを推進すること。

10月12日

学校給食の地産地消、学校給食の食物アレルギー対応、学校給食費のあり方について調査し、太子町学校給食共同調理センターで給食の試食及び視察を行った。



学校給食

11月9日

【課題】

①学校給食の地産地消

平成20年から3年間で、太子町市部会からの納入は年々増えている。

しかし、食材の量は全体の1割に過ぎず、地産地消と言うほどではない。

また地産地消を本格的に進めるには農業政策等、全体で考える必要がある。

②学校給食の食物アレルギー対応

アレルギー対応給食を実施するには専用調理室が必要で、現施設ではスペース的に厳しい。給食センターは昭和48年に建てられ、耐震化の問題もあり、いずれ建て替えるときには対応を考える必要がある。

③学校給食費のあり方

滞納については学校間に差があるものの一部の家庭であり、件数、金額とも多くはなかったが、滞納の理由、内容、徴収方法等引き続き調査することにした。また滞納を減らす観点から、給食申込制度の導入、子ども手当からの天引き等、何らかの対応が必要である。

給食費無料化をするには当町の場合、年間約2億円を確保しなければならぬ。予算総額90億円余りの規模で2億円は非常に厳しい。また、完全無料化すると逆に子ども

の給食に対する意識や心が変化し、粗末に扱うようになるのではないかと危惧する面もある。

12月9日

【委員会付託案件】

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正、太子町保育所の設置に関する条例の一部改正、太子町児童保育事業実施条例の一部改正、財産の無償譲渡について委員会審査を行い、いずれも全員賛成で認定した。

【課題】

学校給食をセンター方式で提供している近隣の団体へ文書照会を行い、比較調査することとした。

【所管事務調査】

幼稚園通園バスについて、「広報たいし」10月号に25年度スクールバス廃止予定と載せた経緯や今後の対応について、1月に当局に説明を求めることとした。

経済建設常任委員会

11月17日

立岡山北配水池整備事業

今現在、30%ほどの進捗状況であり、11月1日よりJRの土地に仮タンクを配置し、各家庭へ給水を行っている。既設の配水池は、本日より取り壊し工事を行っているため報告を受け、現場の視察後、質疑を行った。



立岡山北配水池

料と既存施設の解体費は。答 仮設タンクのリース

料は2年間で約2100万円、既設RC(鉄筋コンクリート)の撤去費は約1300万円。

12月12日

①立岡山北配水池整備事業

既設構造物の撤去作業が先週末で完了した。予定工期より早く終わりで、年明けから本格的な掘削工事にかかる予定である。

北配水池内の北側を拡張して、作業ヤードを確保する必要がある。土地を借り、法面を立ち上げるため、土留めを検討している。請負業者から発生した要因なので、増額は考えていないと報告があった。

②危険箇所の対策

原のため池の漏水、開発医院前の路側面の起伏、川島の新幹線高架下の道路側の現地視察を行い、1月に当局に説明を求めることとした。

問 進入禁止及び工事のお知らせが出たが、工期の遅れに対し、どの程度進入禁止が延びるのか。答 年内にめどが立つと思うので、その時点で周知する。

問 仮設タンクのリース



2年2組
内田 ひかる



2年1組
油谷 大河



2年1組
金子 将太

表紙（太子西中学校美術部）

ご応募ありがとうございました

（順不同）

前号は太子高校美術部の作品を掲載、次号は太子東中学校美術部にお願いします。



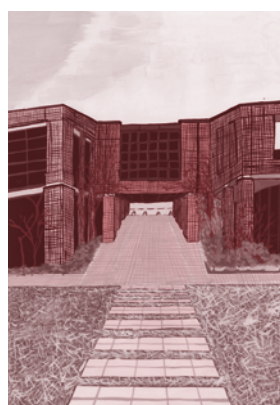
2年3組
土田 歩香



2年2組
原塚 千尋



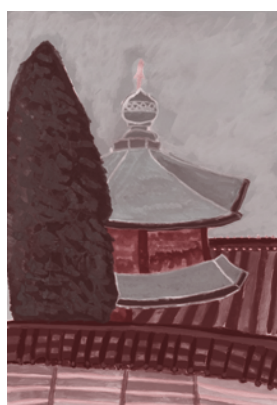
2年2組
大西 亜子（表紙作品）



2年5組
松本 拓海（表紙作品）



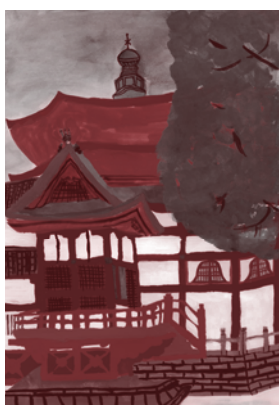
2年4組
井本 葵



2年3組
山田 莉子



選考風景



1年1組
和田 典子



1年1組
前田 詩音

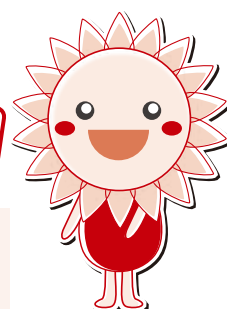
3月定例会予定

- 2月24日（第1日／提案説明）
- 2月27日（第2日／一般質問）
- 2月28日（予備日／一般質問）
- 2月29日（第3日／議案質疑・討論・採決）
- 3月 5日（第4日／総括質疑・議案質疑）
- 3月 6日（第5日／議案質疑）
- 3月23日（第6日／討論・採決）

議会傍聴に お越しください！

◆お知らせ

議会だよりでは伝えられない会議の様子を太子町ホームページまたは図書館や公民館でご覧いただけます。



ひと、まち、ともに 60年

大谷 康文さん(北之町)
昭和26年12月17日生まれ

「聖徳太子」を敬うからこそ優しい笑顔になれる。

『昔は斑鳩寺の境内でビー玉や探検をして遊んでいたが今の子供たちは集まってカードゲームをしているのが面白いですね』と話されるのは斑鳩寺住職の大谷さん。

『太子会式の参拝者も以前よりかなり減ったと思います。昔はサーカスやガマの油売りなど来て、子供からお年寄りまで集まって活気がすごかったですよ。近隣にも小さな商店がたくさんありましたが、大型店舗の出店などで少なくなってしまいましたね。今は近くで買い物できますが、昔は姫路に行くことだけで感動していました』と斑鳩寺と太子町の今と昔をお話していただきました。寺報も昭和62年2月から毎月発行し300回を越え、ますます盛り上がっているようです。



平成22年稚児行列(写真提供:歴史資料館)

大谷さんに
聞きました!

👉太子町でも変わった?
家族の「がたち」

ホームドラマが無くなった。
ホームドラマには食卓を囲む食事シーンが定番。

食事を一緒にしなくなり
食卓を囲む場面に違和感を感じているのでしょうか。

昔はTVを見ながら食事をしないのがしつけでしたが、皆で同じものを見ることも1つのつながりなのかもしれません。

👉太子町のこれからに期待

子供たちが大人になって他の地域に行ったとき、斑鳩寺に限らずB級グルメでいいので、太子町の自慢ができるようになれば嬉しいです。

投稿欄

期待してます

議員の皆さんへ

小田 寛治(東本町)

皆さんは選挙公報で私達町民にさまざまな約束をされました。

その選挙公報のなかで、議会改革に絞って中味を拝見しますと、当選議員16名中わずから5名の議員が議会改革(らしきものを含めて)を取り上げておられます。果たしてこれだけでよいのでしょうか。

議員の皆さんは、議会改革・開かれた議会などは、議員活動として当然とお思いならば、選挙公報にあるような抽象論ではなく、具体的にどのような工程表をお持ちなのか。議会だよりでぜひご発言をお願いします。

編集後記

◆1月〜2月は暦の上でも最も寒さ厳しい季節を迎えています。

町民の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

昨年11月臨時会で条例1件、12月定例会で補正予算8件、条例5件、同意2件、その他3件を審議し可決しました。また、一般質問では13名の議員が2日間にわたり、町当局へ政策提言を活発に行いました。

町民と議会をつなぐ「議会だより」、これからも見やすく・分かりやすく・しかも親しまれるをモットーに編集委員一同頑張ります。

(中井記)

あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んでのご感想などお聴かせください。
皆さんからの投稿(俳句・川柳・写真など)もお待ちしています。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

◆編集

広報広聴常任委員会

委員長 中島 貞次

副委員長 堀 卓史

委員 中井 政喜

委員 井村 淳子

委員 首藤 佳隆

委員 藤澤 元之介

委員 中数 清志



◆寄附行為の禁止
議員は町内のお祭りのときなどにお金を寄附したり、お酒などを差し入れることは禁止されています。